

### 会 議 録(1)

会議の名称	令和4年度 第1回飯能市立博物館協議会
開催日時	令和4年5月31日(火)午前10時00分から11時45分まで
開催場所	飯能市立博物館 学習研修室
議長氏名	栗原 慶子
出席委員	栗原 慶子 小槻 成克 平野 功 岩崎 隆 井上 淳治 岸 やよい 杉田 和美 野村 正弘 馬場 憲一 平良 宣子
欠席委員	なし
説明者の職員	なし
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員 職 氏 名	博物館長 尾崎 泰弘 主査 引間 隆文 主任 岸 裕介 主事 波田 尚大

## 会 議 録(2)

### 議事の概要(経過)・決定事項

#### 議事

(1) 令和3年度事業報告について

- ・資料1「令和3年度 主要な事業報告」に基づいて説明した。

(2) 令和4年度事業経過と今後の予定について

- ・資料2「令和4年度 主要な事業報告・予定」に基づいて説明した。

(3) 令和4年度博物館評価について

- ・博物館事業評価表1－8に基づいて説明した。

(4) その他

### 会 議 録(3)

発 言 者	発 言 内 容
	午前10時00分 開会
主査	<p>1 開会</p> <p>皆様ご多用のところをご出席いただきまして誠にありがとうございます。飯能市立博物館条例第15条第2項に規定されています「委員の2分の1以上の出席」をいただきましたので、これより令和4年度第1回飯能市立博物館協議会を開会いたします。</p> <p>それでは開会に際しまして会長からごあいさつをお願いいたします。</p>
会長	<p>2 あいさつ</p> <p>おはようございます。本日はお忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>私が会長に就任してからは、新型コロナウイルス感染症に振り回される日々でした。</p> <p>最初は、飯能市郷土館の設立委員として携わっていました。郷土館は市民の方の熱意ある活動のおかげで完成しました。その過程を間近で見っていました。リニューアルにともない、飯能市立博物館としてスタートし、館に対する市民の目も変わってきていて、これから様々な事業等を実施していく、という時にこのような感染症が流行してしまったことは大変残念でした。</p> <p>年齢のこともありますので、時代遅れにならないように努めていました。委員の皆さまのご協力のおかげで、様々なことを学ぶことができましたと思います。会の中でも、とても良いご意見をいつもいただいているので、会長としては大変ありがたく思っています。</p> <p>本日もよろしくお願いいたします。</p>
主査	<p>続きまして、博物館長よりごあいさつ申し上げます。</p>
館長	<p>本日はよろしくお願いいたします。令和4年度第1回目の会であり、委員の皆様の任期の最後の会でございます。</p> <p>議事(3)について重点を置き、ご協議いただきたいと考えております。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
主査	<p>続きまして、人事異動について、博物館長よりご報告いたします。</p>
館長	<p>人事異動によって、加治小学校長の中井 健一委員から平野 功委員へと変更となりました。</p> <p>博物館職員人事については、長谷川 裕子主任が水道業務課へ異動し、道路公園課より岸 裕介主任が着任いたしました。</p>
主査	<p>ありがとうございました。では、本日は傍聴希望者がおりませんでしたので、これより議事に入りたいと思います。</p> <p>議事の進行につきましては、条例第15条第1項の規定により、会長をお願いいたし</p>

	<p>ます。</p>
会長	<p>3 議事</p> <p>それでは議事に入ります。はじめに本日の議事について説明をお願いします。</p>
館長	<p>(1) 令和3年度事業報告について、(2) 令和4年度事業経過と今後の予定について、(3) 令和4年度博物館評価についてご審議いただきたいと考えております。</p> <p>それでは、議題「(1) 令和3年度事業報告について」の説明をいたします。 (資料1に基づいて説明)</p>
会長	<p>(1) 令和3年度事業報告については、前回の協議会で既に報告を受けていますが、質疑のある方はお願いします。</p> <p>(なしの声あり)</p> <p>続いて(2) 令和4年度事業経過と今後の予定について、説明をお願いします。</p>
館長	<p>それでは、議題「(2) 令和4年度事業経過と今後の予定について」の説明をいたします。</p> <p>(資料2に基づいて説明)</p>
会長	<p>このことについて、質疑のある方はお願いします。</p>
委員	<p>本日、加治小学校の歴史クラブの講師として館長にご協力をいただきます。本務の妨げにならないように、よろしくをお願いします。</p>
会長	<p>春の自然観察会「野鳥の鳴き声講座」のような、「鳥」をテーマにした講座の実施予定はありますか。</p>
主任	<p>自然観察会は年に3回しか実施しないので、同じテーマを年度内に扱わないようにしております。ですが、年度内に実施できるかはわかりませんが、季節を変えて「鳥」をテーマにした講座は実施したいと考えております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にご意見がなければ、続いて(4) 令和4年度博物館評価について、説明をお願いします。</p>
館長	<p>それでは、議題「(3) 4年度博物館評価について」の説明をいたします。 (博物館事業評価表に基づいて説明)</p>

会長	<p>ありがとうございました。5番「市指定有形民俗文化財「片瀬人形」の修復」について、だいぶ傷んでいると思いますが、現在どこで保存しているのですか。</p>
主査	<p>片瀬人形は持ち上げるだけで、顔の塗料が剥落してしまう状態です。現在、当館の収蔵庫で保存しています。</p>
委員	<p>1番から8番までだと長くなってしまいますので、順に確認していきます。1番「特別展「天覧山」(仮称)の充実」の「達成指標と目標値」について、①「アンケートの回答で、展示を見て「新しい発見があった」人の割合が75%以上であること。」、②「1日の平均入館者数が130人以上であること。」と設定していますが、75%以上、130人以上という数字の根拠は何ですか。</p>
館長	<p>①の75%については、特に根拠はありません。②の120人以上については、郷土館から博物館へリニューアルオープンした後の平均入館者数が120人であるためです。</p>
委員	<p>①の75%以上に意味はないわけですね。心配しているのは、この数字を超えられるかどうかということです。</p>
会長	<p>アンケートに①を問う質問項目を設けるということで、収蔵品展や自然写真展で対応していたアンケートの回答をスマートフォンでできるようにしたのは、紙に書くよりも楽でよいなと思いました。現在は、高齢の方もスマートフォンを持っている方が多いですから。</p> <p>他にご意見・ご質問等がございますか。それでは、2番「調査研究成果の市民への還元」についてご意見・ご質問等がある方はお願いします。</p>
委員	<p>「That's きっとす」と「今月の一品」を執筆していたのは知りませんでした。凄い業績だと思います。館報には掲載しているとのことですが、事業報告の中でも紹介し、資料として配布してください。</p>
館長	<p>承知いたしました。</p>
委員	<p>WEB サイトで掲載しているのであれば、アクセス数を確認した方が良いです。</p>
館長	<p>WEB サイトは広報情報課が主体となり運営しており、個々のページのアクセス数を確認するのは担当課では難しいようですが、大事な要素なので、改めて広報情報課にアクセス数について確認をとりたいと思います。</p>
委員	<p>『文化新聞』については発行部数を確認し、それを両記事の読者数とした方がよいです。</p>

委員	<p>アクセスカウンターは担当課で設置可能なものもありますが、公的な WEB サイトで使用してよいかは不明瞭です。すぐに導入するのではなく、検討してください。</p>
館長	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>それでは、3番「街なかに残る歴史的建造物の価値の発信」についてご意見・ご質問等がある方はお願いします。</p>
委員	<p>3件以上発信するとのことですが3棟の歴史的建造物の価値を発信するということでよろしいですか。</p>
館長	<p>そうではなく、記事を3件発信するということです。記事1件の中で、複数の歴史的建造物を紹介することもあります。</p>
委員	<p>博物館で事業を実施する訳ではなく、団体や建築士が主体ということですか。</p>
館長	<p>はい、現在検討中の計画では、シンポジウムを開催予定で、パネラーとして参加して欲しいとの要望が出ています。詳細については未定です。</p>
委員	<p>市街地の歴史的建造物を発信することで、具体的にどういったことに繋がっていくのですか。</p>
館長	<p>第2次飯能市環境基本計画の基本方針8「快適な生活空間をつくる」の中に、「地域にある歴史文化資源の掘り起こしとそれを生かした景観の保全と活用」が取組内容として例示されています。町なみの景観形成は建築課が所管ですが、博物館もその大切さを市民に発信していきたいと考えております。</p>
委員	<p>「伝統的建造物群保存地区」に近い形で、歴史建造物を保存し、活用できたらいいですね。</p>
会長	<p>それでは、4番「収蔵資料の整理」についてご意見・ご質問等がある方はお願いします。</p>
委員	<p>資料カード作成について、数値目標ではなく質的目標を据えた方が良いのではないかと以前指摘したことがあると思います。そのことに関連して、全体でどのくらい未整理の資料を保有し、どの程度の期間が必要なのかを示す計画のようなものがあってもいいのではないかと思うのですが、現実的にそういったものを示すのは難しいですか。</p>
館長	<p>資料群の中でも、点数が少ないものは手をつけることができるのですが、1,000点を超えるような場合、腰を据えてまとめて作業をしなければなりません。そういったものをた</p>

	<p>くさん抱えているのが現状です。資料をお預かりした以上は整理し、公開していきたいのですが、現在は資料の散逸を防ぐことを第一としています。資料目録を2年に一度刊行しているのですが、それにあわせて点数の多い資料群を整理しています。現状、計画を示すことは難しいです。</p>
委員	<p>市民の方が資料整理を行っていたことがありますよね。館とはどのような関係でそのような作業をしていただいていたのですか。</p>
尾崎	<p>当館の市民学芸員制度は現在3分野で活動していますが、古文書整理型の方々に資料群の整理の一部を手伝ってもらっています。以前古文書を封筒に入れる作業をしてもらったこともあるのですが、皆さんくずし字が読めますので、やはり翻刻の方が意欲的に参加してくれます。</p>
会長	<p>それでは、5番「市指定有形民俗文化財「片瀬人形」の修復」についてご意見・ご質問等がある方はお願いします。</p>
委員	<p>「片瀬人形」は全部で何体ですか。</p>
主査	<p>21点です。</p>
委員	<p>修復の方針としては、どの程度の修復を目指すのですか。</p>
主査	<p>大方針については、6月9日開催予定の「「落合家人形芝居及び説経節関連資料」修理検討会」で検討してまいります。現段階では、現状維持ができるよう、劣化を食い止めることを第一に考えています。衣装についても同様で、新たに製作したり、塗るようなことはしないつもりです。もう一度上演する、ということではありません。</p>
委員	<p>修復方法によっては、当初の形を留めないものとなることもあります。ぜひ、後世に残すことができるように修復をお願いします。</p>
委員	<p>財政課等には、その旨を伝えておいた方が良いでしょう。現状維持を目的とした補修なのに、上演できるまでの状態へ復元をするものと思違いをする可能性があります。</p>
主査	<p>ご意見ありがとうございます。</p>
会長	<p>それでは、6番「飯能 GIGA スクールに対応した小学生の学習支援」についてご意見・ご質問等がある方はお願いします。</p>
委員	<p>資料1「令和3年度 主要な事業報告」について、「小学3年生社会科見学対応」における「出張授業」と「小・中学校への出張授業」について、「出張授業」という名称が共</p>

	<p>に使われていますが、具体的にどう違うのか、体系的に何が異なるのかを示したほうが良いですね。</p>
館長	<p>前者の場合は、見学のため来館できない小学校に対して実施しています。後者の場合は、学年を問わず、教科に応じて担任教諭から依頼があり、実施します。「飯能市生涯学習出前講座」のメニューを参考にしているようです。</p>
委員	<p>市内の小学校は何校で、人数ほどの程度ですか。</p>
委員	<p>12校で、一学年500－600人です。</p>
委員	<p>「達成指標と目標値」について、①と②について解説をお願いします。</p>
館長	<p>①は昨年度、「小学3年生社会科見学対応」の「出張授業」で加治小学校に赴いた際に、例年冊子形式で配布している「学習ノート」をPDF化してタブレットで配信したいというお申し出を受けました。入念な打ち合わせのうえ、実施したところ、児童・教職員ともに好評だったので、他校でも導入するようPRしていきたいと考えております。②は昨年度、オンライン授業を行う環境が整ってきたこともあり、奥武蔵小と第一小で、児童は教室にいて、我々が博物館で質問等に回答する形式の授業を実施しました。こうした形式の授業を増やしていくことがICT推進に繋がるものと考えております。</p>
委員	<p>オンライン授業については私も模索しています。昨年度実施したのですが、館内や資料を事前に映像等で紹介しておく、出張授業を行った際に児童たちの反応がよかったです。オンライン授業によって、今まで来館できなかった遠隔の方を対象とする分にはよいと思いますが、博物館資料として実物を見ていただきたいところもあるので、両立させることが大事ですね。</p>
委員	<p>「実物」が重要なのは間違いありません。オンラインであるメリットとデメリットは何なのかを館内で整理しておくといいでしょう。オンライン授業を実施することが目的ではありませんので。</p>
委員	<p>仰るとおりですね。遠隔の方を対象とする点、学習の動機付けを図る点はメリットだと思います。GIGAスクール構想ではあくまでもタブレットはツールです。</p>
委員	<p>博物館からの一方的な形ではなく、両者が「連携」してこれらの事業に当たっているのですか。</p>
館長	<p>「小学3年生社会科見学対応」については事前の打合せ等を通じた「連携」を実施していると考えていますが、「小・中学校へ出張授業」については十分とは言えないかもしれません。ですが、地道ではありますがそういった活動を続けていくことで真の「連携」</p>



	<p>に繋がるものと考えております。</p>
委員	<p>加治小学校の「歴史クラブ」の講師を館長に依頼しているのですが、これについては児童・教員・館長と一から計画づくりをしています。</p>
委員	<p>私の前職の経験をお話しますと、その博物館には教頭級の指導主事が4名在籍しており、学校との連携の窓口を担当していました。打合せは何度もしますし、すぐに使える「教育指導案」を準備していました。教員のための博物館活用講座も実施していました。</p>
会長	<p>それでは、7番「出前講座「飯能の災害史」のプログラム改善」についてご意見・ご質問等がある方はお願いします。</p>
委員	<p>平成25(2013)年開催の特別展「飯能方面湖水の如し―失われる災害の記憶―」以後の災害を付け加えるということですか。</p>
館長	<p>これまで危機管理室とともに当該講座を実施していたのですが、その枠組みで行う機会が少なくなっています。そこで、博物館だけで実施可能な内容に変更しようということです。</p>
委員	<p>「災害史を学ぶ」ことの意味について考えて欲しい。やはりそれは「減災」に繋げるしかないと思います。先日、東京都防災会議地震部会が立川断層帯地震の被害想定を公表しました。こうしたテーマで市民と博物館が共同で討議する機会にしていって欲しいと思います。</p>
会長	<p>災害についての出前講座の件数は年間何件程度でしょうか。</p>
館長	<p>5, 6件です。</p>
会長	<p>それでは、8番「飯能河原・天覧山周辺の自然のビジターセンター的機能の充実」についてご意見・ご質問等がある方はお願いします。</p>
委員	<p>達成指標と目標値の①について、講座の参加定員は10名が妥当なのですか。</p>
館長	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、定員を減らしております。通常時であれば、15名程度です。</p>
委員	<p>市民の方を対象としていますか。</p>
館長	<p>はい。</p>

委員	達成指標と目標値の②について、新規参加者の割合を増やすために、どのような取り組みをしているのですか。
館長	魅力的な講座を企画する、広報を工夫するという取り組みをしています。
委員	先着順では、常連の方が多くなってしまわないでしょうか。
主任	5月に実施した自然観察会「野鳥の鳴き声講座」では80パーセントの方が新規参加者でした。新しく実施した講座であるためと考えられます。
委員	私の経験談ですが、毎年同じ講座を同じ時期にやり、その成果をWEBサイトで掲載します。広告に力を入れるのではなく、過去の事業をアーカイブ化して公開することで、集客効果が得られます。また、資料をWEBサイトに掲載し、スマホさえあれば個人で講座と同じようなことができる仕組みを整えました。 ゼミ生が、虫の写真を撮影し、専用サイトにアップロードするだけで、大体の種名がわかりました。こういった外部の公開されているツールなどをうまく活用していけば良いのではないのでしょうか。
会長	それでは、議題「(4)その他」について、ご意見等ございましたらお願いします。
委員	すぐに実行して欲しいということではありませんが、常設展示のリニューアルについて、常に準備しておく必要があると思います。5年、10年の節目の年に是非実施して欲しいと思います。
委員	自然観察講座の定員ですが、もっと多くの人に見て欲しいと思います。たまたまいけなかった方、体調の悪い方などにも配慮していただきますようお願いします。
委員	私は名栗に住んでいるので、博物館が遠いです。タブレットなどで、対応していただくと助かります。こういったことを知りたい、ということは博物館に来なければわかりませんので、もったいないと思います。
会長	他にご意見等ありますか。  (なしの声あり)
会長	以上で、本日予定した議事につきましては、全て終了いたしました。進行を事務局へお返しいたします。  4 その他

主査	ご審議ありがとうございました。それでは「4 その他」に移ります。任期について、館長の尾崎よりお話がございませう。
館長	本委員の皆様は令和4(2022)年6月30日まででございます。栗原会長がご勇退のご意向でございます。栗原会長には本当にお世話になりました。ありがとうございました。最後にご挨拶をお願いいたします。
会長	<p>何度も言うようですが、この年齢で、飯能市立博物館協議会の委員を務めるとは思っておりませんでした。</p> <p>私の専門外のことで不安でしたが、委員の皆様のご厚意とご協力で大変よい会にできたと思います。活発な意見交換の中で、学ぶことはたくさんあると実感しました。委員の皆様、色々ご教示いただきありがとうございました。これからは健康第一に、元気に過ごしていきたいと思っております。</p>
館長	長年委員を務めていただき、ありがとうございました。
主査	<p>ありがとうございました。委員の皆様から何かございますか。</p> <p>(なしの声あり)</p>
主査	それでは「4 その他」は以上といたします。
主査	<p>5 閉会</p> <p>以上で、令和4年度第1回飯能市立博物館協議会を閉会いたします。本日はご審議いただきありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">午前11時45分 閉会</p>

議事の内容、概要を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名します。

令和 年 月 日

会長の署名 \_\_\_\_\_